B5FY-1991-01 Z2

FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

Microsoft® Office XP Professional/Personal モデル
カスタムメイドオプション

アプリケーション補足説明書

目次

はじめに

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では、カスタムメイドオプションのアプリケーションについて、簡単に説明しています。カスタムメイドで選択された各アプリケーションをお使いになる前に、お読みください。
なお、Windows のセットアップが終了していない場合は、本パソコンに添付の『取扱説明書』をご覧になり、セットアップを終了してから、本書をご覧ください。
また、各アプリケーションの詳細な情報やお問い合わせ先については、それぞれのマニュアルをご覧ください。

■製品の呼び方について

本書では、製品名称を次のように略して表記しています。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本書での表記</th></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td><td rowspan="6">Windows</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td>Windows XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td colspan="2">Windows 2000</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0</td><td colspan="2">Windows NT</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® Millennium Edition</td><td colspan="2">Windows Me</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION</td><td colspan="2">Windows 98</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office XP Professional</td><td colspan="3">Office XP Professional</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office XP Personal</td><td colspan="3">Office XP Personal</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Word Version 2002</td><td colspan="3">Microsoft Word</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Excel Version 2002</td><td colspan="3">Microsoft Excel</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Outlook® Version 2002</td><td colspan="3">Microsoft Outlook</td></tr>
<tr><td>Microsoft® PowerPoint® Version 2002</td><td colspan="3">Microsoft PowerPoint</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Access® Version 2002</td><td colspan="3">Microsoft Access</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Bookshelf® Basic 3.0</td><td colspan="3">Microsoft Bookshelf Basic</td></tr>
</table>

1 Office XP Professional について

プレインストールソフトウェア

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft PowerPoint、Microsoft Access、Microsoft IME 2002、Microsoft Bookshelf Basic

プレインストールソフトウェアの起動について

パソコン開封後、はじめて Office XP Professional のアプリケーション（Microsoft Word、Microsoft Excel など）を起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」ダイアログボックスが表示されます。「同意する」をクリックすると、アプリケーションがお使いになれます。

プレインストールされていないソフトウェアをお使いになるには

■ Microsoft Office XP メディア コンテンツ

Microsoft Office XP メディア コンテンツの CD-ROM をセットし、インストールを行ってください。

■ Microsoft Office XP Professional Step by Step Interactive

Microsoft Office XP Professional Step by Step Interactive の CD-ROM をセットし、インストールを行ってください。

アンインストールするには

「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」の中から、「Microsoft Office XP Professional」を選択し、「削除」をクリックして、アンインストールを行ってください。

再インストール、またはリカバリ後のインストールについて

1 **管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。**

2 **Office XP Professional の CD をセットします。**

「Microsoft Office XP セットアップ」ウィザードが表示されます。表示されない場合は「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に次のように入力してから「OK」をクリックしてください。

[CD-ROM ドライブ]：￥Setup.exe

3 **「ユーザー名」、「頭文字」、「所属」に適切な情報を入力します。また、「プロダクト キー」に CD-ROM ケース裏面にあるプロダクト キーを入力します。**

4 **「次へ」をクリックします。**

5 **「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をチェックし、「次へ」をクリックします。**

6 **インストールの種類で「カスタム」を選択し、「次へ」をクリックします。**

7 **インストールするアプリケーションを指定で「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」を選択し、「次へ」をクリックします。**

8 **「インストールするアプリケーション」の「Microsoft Office」をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。**

9 **「Microsoft Office」－「Microsoft Excel for Windows」－「読み上げ」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

10 **「Microsoft Office」－「Office 共有機能」－「入力システムの拡張」－「音声」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

Windows 2000 モデルの場合、手順 12 へ進んでください。

11 **「Microsoft Office」－「Office ツール」－「高速検索のサポート」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

12 **「次へ」をクリックします。**

13 **「完了」をクリックします。**

インストールが開始します。

14 **「はい」をクリックします。**

再起動します。

15 **Office XP Professional のアプリケーションを起動します。**

「Office XP 使用許諾契約書」ダイアログボックスが表示されます。

16「同意する」をクリックします。
「Microsoft Office XP Professional ライセンス認証ウィザード」が表示されます。
「Microsoft Office XP Professional セットアップガイド」をご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

注意事項

・音声機能は、プレインストールされていません。
音声認識機能をインストールしてお使いになる場合の必要システムは、次の通りです。
- Pentium Ⅱ 400MHz 相当以上のプロセッサ
- 128MB 以上の実装メモリ
メインメモリを VRAM と共用して使っている機種では、メインメモリの増設が必要となる場合があります。
- ヘッドセット式の高性能マイク

・インデックス検索機能は、プレインストールされていません。
なお、Windows 2000 モデルの場合、高速検索をサポートしていません。
・リカバリ後に Microsoft Bookshelf Basic をお使いになる場合は、「Microsoft Office XP Professional セットアップガイド」をご覧になり、インストールを行ってください。
・Windows 2000 モデルでセットアップが終了したあとは、必ず一度 Administrator で Office XP のアプリケーションを起動し、使用許諾契約書に同意してください。
・Windows 2000 モデルの初期状態では、日本語入力システムで Microsoft IME 2000 を使用する設定になっています。Microsoft IME 2002 に切り替える場合は、Office XP Professional のアプリケーションを起動し、使用許諾契約書に同意してから、次の手順を行ってください。Microsoft IME 2002 に切り替えを行うと、キーボードレイアウトが変更できます。
1.「コントロールパネル」－「テキスト サービス」をクリックします。
「テキスト サービス」ダイアログボックスが表示されます。
2.「インストールされているサービス」の「キーボード」の中から、次の 2 つを選択し、「削除」をクリックします。
・Microsoft IME Standard 2002
・Microsoft Natural Input 2002
3.「追加」をクリックします。
「入力言語の追加」ダイアログボックスが表示されます。
4.「キーボード レイアウト / 入力システム」をチェックし、プルダウンメニューの中から手順 2 で削除した項目を選択して、「OK」をクリックします。
5.「キーの設定」をクリックします。
「詳細なキー設定」ダイアログボックスが表示されます。
6.「キーシーケンスの変更」をクリックします。
「キーシーケンスの変更」ダイアログボックスが表示されます。
7. 切り替えるキーの組み合わせを選択し、「OK」をクリックします。
切り替えるキーの組み合わせを変更しない場合でも、「OK」をクリックしてください。
8.「OK」をクリックします。
9.「OK」をクリックします。
IME 2002 への切り替えは、「キーシーケンスの変更」ダイアログボックスで設定したキーで切り替えることができます。
・Windows NT モデルでは、シャットダウン時に次のメッセージが表示されることがありますが、動作に問題はありません。
「ウィンドウステーションがシャットダウン中であるため、アプリケーションが初期化に失敗しました。」
セットアップ時の「必ず実行してください」を実行中にも、同じメッセージが表示されることがあります。この場合、「OK」をクリックし、「アプリケーションの終了」をクリックして、処理を続けてください。

2 Office XP Personal について

プレインストールソフトウェア

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft IME 2002、Microsoft Bookshelf Basic

プレインストールソフトウェアの起動について

パソコン開封後、はじめて Office XP Personal のアプリケーション（Microsoft Word、Microsoft Excel など）を起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」ダイアログボックスが表示されます。「同意する」をクリックすると、アプリケーションがお使いになれます。

POINT

- 使用許諾に同意後、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」ダイアログボックスが表示される場合があります。その場合は、次の手順を行い、「Microsoft Office XP ライセンス認証ウィザード」を完了させてください。
  1. 「Office XP Personal」の CD-ROM をセットし、「次へ」をクリックします。
     プロダクトキーが記載されているケースに入っている CD-ROM をお使いください。
     「必要な情報を集めています ...」というダイアログボックスが表示されます。
     情報収集後、「変更を反映するには、実行しているアプリケーションをすべて終了しもう一度起動してください。」というダイアログボックスが表示されます。
  2. 「OK」をクリックします。
  3. 起動している Office XP Personal のアプリケーション（Microsoft Word、Microsoft Excel など）を終了し、再度起動します。

  なお、CD-ROM ドライブがない機種をお使いの場合は、「終了」をクリックした後、「スタート」ボタンからパソコンの電源を切ってください。パソコンの電源を切った後、CD-ROM ドライブを接続し、上記の手順を行ってください。

プレインストールされていないソフトウェアをお使いになるには

■ Microsoft Office XP Personal Step by Step Interactive

Microsoft Office XP Personal Step by Step Interactive の CD-ROM をセットし、インストールを行ってください。

アンインストールについて

「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」の中から、「Microsoft Office XP Personal」を選択し、「削除」をクリックして、アンインストールを行ってください。

再インストール、またはリカバリ後のインストールについて

1 **管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。**

2 **Office XP Personal の CD をセットします。**

「Microsoft Office XP セットアップ」ウィザードが表示されます。表示されない場合は「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に次のように入力してから「OK」をクリックしてください。

［CD-ROM ドライブ］：￥Setup.exe

3 **「ユーザー名」、「頭文字」、「所属」に適切な情報を入力します。また、「プロダクト キー」に CD-ROM ケース裏面にあるプロダクト キーを入力します。**

4 **「次へ」をクリックします。**

5 **「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をチェックし、「次へ」をクリックします。**

6 **インストールの種類で「カスタム」を選択し、「次へ」をクリックします。**

7 **インストールするアプリケーションを指定で「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」を選択し、「次へ」をクリックします。**

8 **「インストールするアプリケーション」の「Microsoft Office」をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。**

9 **「Microsoft Office」－「Microsoft Excel for Windows」－「読み上げ」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

10 **「Microsoft Office」－「Office 共有機能」－「入力システムの拡張」－「音声」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

Windows 2000 モデルの場合、手順 12 へ進んでください。

11 **「Microsoft Office」－「Office ツール」－「高速検索のサポート」をクリックし、「インストールしない」をクリックします。**

12 **「次へ」をクリックします。**

13 「完了」をクリックします。

インストールが開始します。

14 「はい」をクリックします。

再起動します。

15 Office XP Personal のアプリケーションを起動します。

「Office XP 使用許諾契約書」ダイアログボックスが表示されます。

16 「同意する」をクリックします。

「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」が表示されます。「Microsoft Office XP Personal セットアップガイド」をご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

注意事項

・音声機能は、プレインストールされていません。
　音声認識機能をインストールしてお使いになる場合の必要システムは、次の通りです。
　- Pentium Ⅱ 400MHz 相当以上のプロセッサ
　- 128MB 以上の実装メモリ
　　メインメモリを VRAM と共用して使っている機種では、メインメモリの増設が必要となる場合があります。
　- ヘッドセット式の高性能マイク
・インデックス検索機能は、プレインストールされていません。
　なお、Windows 2000 モデルの場合、高速検索をサポートしていません。
・リカバリ後に Microsoft Bookshelf Basic をお使いになる場合は、「Microsoft Office XP Personal セットアップガイド」をご覧になり、インストールを行ってください。
・Windows 2000 モデルでセットアップが終了したあとは、必ず一度 Administrator で Office XP のアプリケーションを起動し、使用許諾契約書に同意してください。
・Windows 2000 モデルの初期状態では、日本語入力システムで Microsoft IME 2000 を使用する設定になっています。Microsoft IME 2002 に切り替える場合は、Office XP Personal のアプリケーションを起動し、使用許諾契約書に同意してから、次の手順を行ってください。Microsoft IME 2002 に切り替えを行うと、キーボードレイアウトが変更できます。
　1.「コントロールパネル」－「テキスト サービス」をクリックします。
　　「テキスト サービス」ダイアログボックスが表示されます。
　2.「インストールされているサービス」の「キーボード」の中から、次の 2 つを選択し、「削除」をクリックします。
　　・Microsoft IME Standard 2002
　　・Microsoft Natural Input 2002
　3.「追加」をクリックします。
　　「入力言語の追加」ダイアログボックスが表示されます。
　4.「キーボード レイアウト / 入力システム」をチェックし、プルダウンメニューの中から手順 2 で削除した項目を選択して、「OK」をクリックします。
　5.「キーの設定」をクリックします。
　　「詳細なキー設定」ダイアログボックスが表示されます。
　6.「キーシーケンスの変更」をクリックします。
　　「キーシーケンスの変更」ダイアログボックスが表示されます。
　7. 切り替えるキーの組み合わせを選択し、「OK」をクリックします。
　　切り替えるキーの組み合わせを変更しない場合でも、「OK」をクリックしてください。
　8.「OK」をクリックします。
　9.「OK」をクリックします。
　IME 2002 への切り替えは、「キーシーケンスの変更」ダイアログボックスで設定したキーで切り替えることができます。
・Windows NT モデルでは、シャットダウン時に次のメッセージが表示されることがありますが、動作に問題はありません。
　「ウィンドウステーションがシャットダウン中であるため、アプリケーションが初期化に失敗しました。」
　セットアップ時の「必ず実行してください」を実行中にも、同じメッセージが表示されることがあります。この場合、「OK」をクリックし、「アプリケーションの終了」をクリックして、処理を続けてください。